

学校だより

以下に記載の学年は、各学校行事実施時のものである。

1学年宿泊研修

2月20日から2泊3日の日程で「1学年宿泊研修」を行った。初日は笠間市の「松佐陶工房」で『ろくろ』を使った陶芸体験。生徒はろくろを回すことにより集中力が高まり、完成した際には大きな達成感を感じていた。午後からはつくば市の「フォレストアドベンチャーつくば」に移動し、施設内の様々なコースでハーネスを着けて高所でのアクティビティを行い、楽しみの反面で高所での不安定さや恐怖感を体験することができた。

2日目は宿泊先の「さしま少年自然の家」でチームビルディングを実施した。生憎の雨天となったが、午



1学年宿泊研修 (ろくろ体験)

前中は体育館でA S E研修(グループによる共同作業)・昼からは屋根付きの炊飯場でバーベキューを行った。3日目は日立ハイテク(那珂サイト・マリンスイト)で工場見学をさせていただいた。ご多忙のところ、受け入れてくださった事業所と日工同窓会の皆様には感謝申し上げます。生徒は働くことへのイメージが湧き、先輩方の仕事に対する熱意や使命感を感じていた。将来の姿を身近で感じられる工場見学こそ、他校にはない日専校生の醍醐味である。



1学年宿泊研修 (工場見学)

2学年宿泊研修

2月19日から22日、プリンスグラウンドリゾート軽井沢において、2学年宿泊研修を行った。スキー技術はインストラクターの丁寧で熱心なご指導のおかげで生徒全員のレベル



2学年宿泊研修 (スキー研修)



が向上できた。最終日のフリー滑走では、各班のリーダーを中心とした事前ミーティングの実施により、RKY、報連相などを確認して出発し、全員が無事に終了できた。テーマ研修では2年生を振り返って、成功体験や自分の成長ベクトル判断基準について考え、ケーススタディーからのディスカッションを行った。また、入学からこれまでの成長アルバムも作成することができた。さらに、今回延べ35人以上の生

徒が様々な場面でスピーチを行った。かなり緊張していた生徒もいたが、このような経験をさらに積ませていきたいと思う。また、スキースクールの先生やホテルのスタッフ、食事スタッフの方々など、様々な場面でお褒めの言葉をいただいた。日頃の生徒の振る舞いが、このような場面でも発揮され、多少の失敗はあったものの、日専校生の良さとして成長を感じることができた。校外に出る機会を通して、気づきや学びがあり、改めて日専校の強みなど、生徒と共に再確認できたものと思う。いよいよ最終学年への準備段階であるが、さらなる人間力向上をめざして欲しい。

餅つき大会

3月1日、餅つき大会を実施した。目的は、①チームビルディング ②安全考動の実践。また、コミュニケーションの活性化やクラスとしての結束力、組織力を高めることを目標とした。クラスごとに5名の餅つきリーダーを選出し事前準備を念入りに重ねた。餅の味は共通の餡子、きな粉。クラス独自の、いちご大福、黒蜜餅、磯部焼きやお雑煮(うどん入り)とバラエティに富んだ餅つき大会となった。餅つきリーダーたちは事前準備の重要性やコミュニケーションの大切さ、クラスの結束力を高めるための動機づけを実践し、チームビルディングの体得につな

がった。安全面でもRKYを実施し、安全に楽しめる餅つき大会の開催となった。



餅つき大会

2電気科 柳橋 優希

(餅つき大会プロジェクトリーダー) 今回の餅つき大会は初めての試みと聞き、とても楽しそうな企画だと思いました。そして、私は餅つき大会を皆の力で成功させるべくプロジェクトメンバーとして参加させていただきました。新しいことに自ら挑戦するということは、まさしく日専校の考動アクションに通ずることだと思えます。殆どの生徒が初めて経験する杵つき、クラスごとに協力し和気あいあいと美味しいお餅を作ることができました。今回の経験をを通して事前準備と結束力の大切さ、また成功体験はこれからの生活の大きな糧になると思います。

1学年OB交流会

3月5日、9事業所から10名のOBの先輩方に参加していただき、生徒とのグループディスカッションを実施した。代表生徒が来校された先輩方をアテンドし、直接運営に携わることで、大きな経験となった。生徒は事前に先輩への質問を考えておき、ディスカッションの場で様々なお話をいただくことができた。2月22日に実施した事業所見学と合わせ、事業所を「見る」「聴く」「感じる」ことができる貴重な体験ができた。2年生に進級を控えて配属に向けて更に向上心を持たなければならぬ時期に、先輩方と交流できたことは大きな意義がある。2年次には交流した先輩方の職場を訪問し、現場の様子を見学させていただく予定であり、事業所と学校の交流を増やし、良い人財を送り出せるようしっかりと教育していきたい。先輩方からも、



1学年OB交流会

このような交流を増やしていくことが大切とご意見いただいた。お忙しい中の来校に加え、発展的なご意見をいただき、感謝申し上げます。

18歳成人に伴う講話



18歳成人に伴う講話

3月6日、中央労金日立支店より滑川様と小川様に来校いただき、標記講話を実施した。2020年4月の法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられることを受けて、2020年の3月から新3年生を対象に始めたプログラムである。法改正により、18歳から様々な契約が可能となったことを受け、消費トラブルや契約トラブルの危険性が高まっている。本人の賃貸契約やクレジットカード作成等も認められるようになり、しっかりとした知識がないと大きな問題になりかねない。また、契約できる年齢が引き下げられ、判

断力が未熟な中でネットワークビジネス(マルチ商法)に巻き込まれるリスクが高まっている。正しい知識を持ち、良識ある判断力と金銭感覚を身につけて社会に出ていけるよう育成したい。

野球部シーズン開幕初戦

科技高日立(日専校)野球部は3月9日、日立市民運動公園野球場において、2024年度シーズンの初戦となる練習試合を行った。初戦の対戦相手は、日本学園高等学校(東京都)である。この学校は日立製作所の創業社長であり、我が校の設立者でもある小平浪平翁の出身校で、1885年に設立した東大予備門の進学予備校である東京英語学校が前身となる名門校である。



野球部シーズン開幕初戦

本年は小平浪平翁生誕150周年を迎えたこともあり、シーズン初戦にふさわしい相手となった。強豪ひし

めく西東京において上位進出するほどの実力校を相手に善戦したものの、初戦白星とはならなかったが、目標とする夏の選手権制覇に向けてシーズンのスタートを切ることができた。本年度も科技高日立野球部への大きな声援をよろしく願いたい。

生活体験発表会



生活体験発表会

3月12日、体育館において、2023年度生活体験発表日専校大会が行われた。生活体験発表会は、全国高等学校定時制通信制教育振興会が主催する、今年で72回目を数える歴史ある大会である。そもそもは勤労学生の顕彰を目的に開催されてきた。第1回大会から時代は流れ、定時制通信制学校は勤労学生のためだけのものではなくなった。デジタル化時代を反映し、多様な学び方を求める生徒たちが入学している。生活体験

発表の内容も時代に応じて変化している。1・2年生の各クラス代表5名が、学校生活や日常生活の中で得た自らの体験を懸命に語った。彼らの発見や感動は聴く者の大きな共感を呼び、発表会は成功の裡に閉じた。優秀賞2名の中から1名が選ばれ、日専校代表として、東京都世田谷区の科技高本校で開かれる大会へと駒を進める。

クラスマッチ

3月15日、天候にも恵まれ、晴天の中クラスマッチを実施した。今回は、久々に全種目スポーツ部門のみの「スポーツクラスマッチ」と称して実施した。種目は、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、リレー競走の合計6種目で争った。個人の特性を踏まえてメンバーを選出



クラスマッチ

(9頁へ続く)

(8頁の続き)

し、クラスで協力しながら、団結する姿、さらに相互応援する姿が見られた。この戦いを制したのは、6種目中4種目で1位を獲得した2年機械溶接科が総合優勝。2年電気科が第2位となった。今年度最後の学校行事であり、大いに盛り上がる事ができた。

工場実習代表発表会

3月19日、体育館において工場実習代表発表会を実施した。例年どおり、2月に実習先の各事業所で3年生全員が実習内容や成果をスライドにまとめて発表し、その中から8名を選出している。職場紹介や改善事例などを含めながら、堂々と発表する姿に、入学当初の姿を重ね、大きな成長を感じた。発表会に参加した1、2年生からも、途中で打ち切らなければならないほど多くの質問があり、意欲の高さが伺えた。彼らにとっても工場実習について学べる良



工場実習代表発表会

い機会となった。生徒たちの成長した姿が見られるこの行事を、また来年も楽しみにしている。

卒業式



卒業式



卒業生代表の言葉

3月22日に、第109回日立工業専修学校ならびに第57回科学技術学園高等学校の卒業式を日専校体育館で挙行了。5年ぶりに入場制限がない

式典となり、保護者をはじめ多くの方々に見守られた中で行われた。今泉校長、科技高の吉田校長、日立製作所田中執行役常務、日工同窓会鈴木代表副会長から熱いはなむけの言葉をいただいた。卒業生は、みな真摯な面持ちでそれぞれのメッセージを心に刻んだ。2年電気科の崎川真之介君の在校生代表の言葉、3年溶接科の佐藤琉君から卒業生代表の言葉にもそれぞれの思いが込められ、自らの言葉で語られた素晴らしい内容であった。これからも日専校で学んだこと糧に向上心をもって、それぞれの場所で輝き続けて欲しい。

トヨタ工業学園交流会

3月28日から29日、トヨタ工業学園にて交流会を実施した。トヨタ自動車学校の日立製作所の学校。日本を代表する企業内学校で、それぞれの強みを共有する交流会となった。双方の更なる成長につながる機会づくりを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつながることを目標としており、10月の日立での交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つのカテゴリーに分かれ活発な意見交換をし、次につながる新たな目標を決め、日常生活での実践に繋げていく。今後定期的な交流会を重ねていき、日



トヨタ工業学園交流会

専校生としての「あるべき姿」に近づいて行きたい。
2年機械科 小峰 琉唯
今回のトヨタ工業学園との交流会では、トヨタの生徒との交流を通じて自分たちに足りないものや、トヨタの生徒が実践している取り組みなどを良く知ることができました。トヨタには曲がり角など危険な場所に周りを確認できるミラーがあったり、階段に、手すりを使うように促すシールが貼ってあったりと、日専校を超える安全意識を持つていることが良くわかりました。また、生徒一人ひとりの安全意識も高く、例えば階段や教室の前での指差し呼称など自分たちも実践しなければならぬことがたくさんありました。他にもトヨタでは生徒一人ひとりのコミュニケーション能力の高さ、積極性や、周りへの気遣い、人柄の良さなど自分たちのお手本のような生徒ばかりで、見習わなくてはならないなど実感しました。
次に反省として、実際に交流を通して、トヨタの生徒が積極的に話しかけてくれたにも関わらず、緊張して少し冷たい反応をしてしまい、質問を受けてもしつかり受け答えができなかったことがありました。また、自分から質問や話しかけることができず、積極的にコミュニケーションをとることができませんでした。これらの反省を踏まえ、今後は初対面の人でも自分から積極的にコミュニケーションが取れるようにしていきたいです。4月から私は3年生になります。新入生も入学してきますが、学校生活、寮生活で分からないことが多いと思うので、トヨタの生徒のように頻りにコミュニケーションを取り、気遣いも欠かさず、自分が新入生のお手本になれるようにしていきたいです。

入寮・入学式

4月8日、全国各地から75名の新入生が集合した。今年例年より桜の開花が遅れ、7年ぶりに満開の桜が新入生を迎えた。午前中は制服等の試着や荷物の整理、寮食堂で入寮説明会が行われた。これから始まる新たな学校生活に不安げな表情の生徒や、期待からわくわくした表情の

(9頁の続き)
生徒と様々であった。



入寮



入学式

午後からは新しい制服に袖を通し、入学式に臨んだ。日立工業専修学校今泉校長、科学技術学園高等学校松田校長からの言葉、日立製作所グローバル人材開発部小林部長から学

校管理者の言葉をいただいた。また、在校生を代表して3年電気科の猪口健太君から在校生歓迎の言葉があり、新入生を代表して、今井貴恵さんからの入学生誓いの言葉があった。これからの3年間で、この学び舎でたくさんのお話を経験して成長し世界に羽ばたく社会人をめざして欲しい。

新入生歓迎会・導入教育

4月8日、75名の新入生が入学し、16日までの1週間、学校生活の基本となる導入教育が行われた。校長、教頭の訓話、安全、寮生活、生徒指導の講話、学校生活で必需品である手帳や端末機器の使い方や活用法、日専校独自の取り組みとして人財育成に効果を上げている「考動アクション」や部活動の紹介などを行った。

4月9日の午後には体育館で新入生歓迎会を実施した。新入生一人ひとりの紹介や吹奏楽部による歓迎コンサートなどが行われた。期間が短く覚えることも多いため大変な期間だったが、日専校生としての第一歩を踏み出した。今後3年間で様々な経験をを通して日本のモノづくりを支える人財に成長して欲しい。



新入生歓迎会

高鈴山ハイキング

4月12日、導入教育を担当した寮役員やアドバイザーと共に新入生75名が高鈴山ハイキングを行った。先輩と後輩が和気あいあいとコミュニケーションをとっている姿が印象的だった。時折急斜面もあったが、全員が無事山頂に到達することができた。山頂到着と同時に雨に降られるアクシデントもあったが、それも良い思い出になるだろう。下山後はかみすわ山荘でカレーを食べ、空腹を満たして帰校した。入学から約1週間、学校や寮で様々なガイダンスが行われ窮屈な日々が続いていたが、



高鈴山ハイキング

久しぶりの校外活動で生き生きとした姿を見ることができた。今後、本格的に授業・実習がスタートする。1年次に基礎を固め、事業所で必要とされる人財になるための良きスタートになって欲しい。

離任者紹介

杉山 浩先生

出身事業所…

(株)日立製作所日立事業所

担当…理科



日専校で29年間勤務し、グループ(募集広報・学年・教務)、教科(機械・数

学・理科)、部活動(バスケットボール・サッカー・野球)で生徒の皆さんと学校生活を共にしたことは、私の会社生活の証となりました。直近では日専校10余年の歴史資料の保存・公開に携わることができ、日工同窓会の皆さんとも交流できました。全ての方々に感謝申し上げます。

富田 健一先生

出身事業所…三菱重工業(株)

担当…製図実習



3月末をもって退任し原籍復帰することになりました。在任中は様々な学校行事を通して多くのことを学びました。また、教育の大変さ、大切さを感じ

ことができただけで、私にとつて大きな財産となりました。教職員、生徒の皆様の益々のご活躍を心よりご祈念いたします。

新任者紹介

遠藤 春樹先生(86卒)

出身事業所…(株)日立グローバル

ライフソリューションズ多賀事業所

担当…機械実習



母校である日専校に勤務させていただきます。これまでにならなかった。生徒の皆さんと共に成長しながら、学校の発展および生徒の技能と人間力の向上に尽力していきたいと思っております。

今後、優秀な人財を育成出来るよう頑張つて参りますので、宜しくお願いいたします。

相馬 拓哉先生(85卒)

出身事業所…(株)プロテリアル

担当…材料工学、機械工学



4月から母校である日専校で働かせていただくことになりました。多くの卒業生と同じように配属先の職場で活躍出来る人財を送り出せるよう努めて参ります。また、卒業生本人には将来、日専校に入学して良かったと思ってもらえるよう尽力いたしますので、宜しくお願いいたします。